

2 計画地の現状把握

(1) 計画地の位置

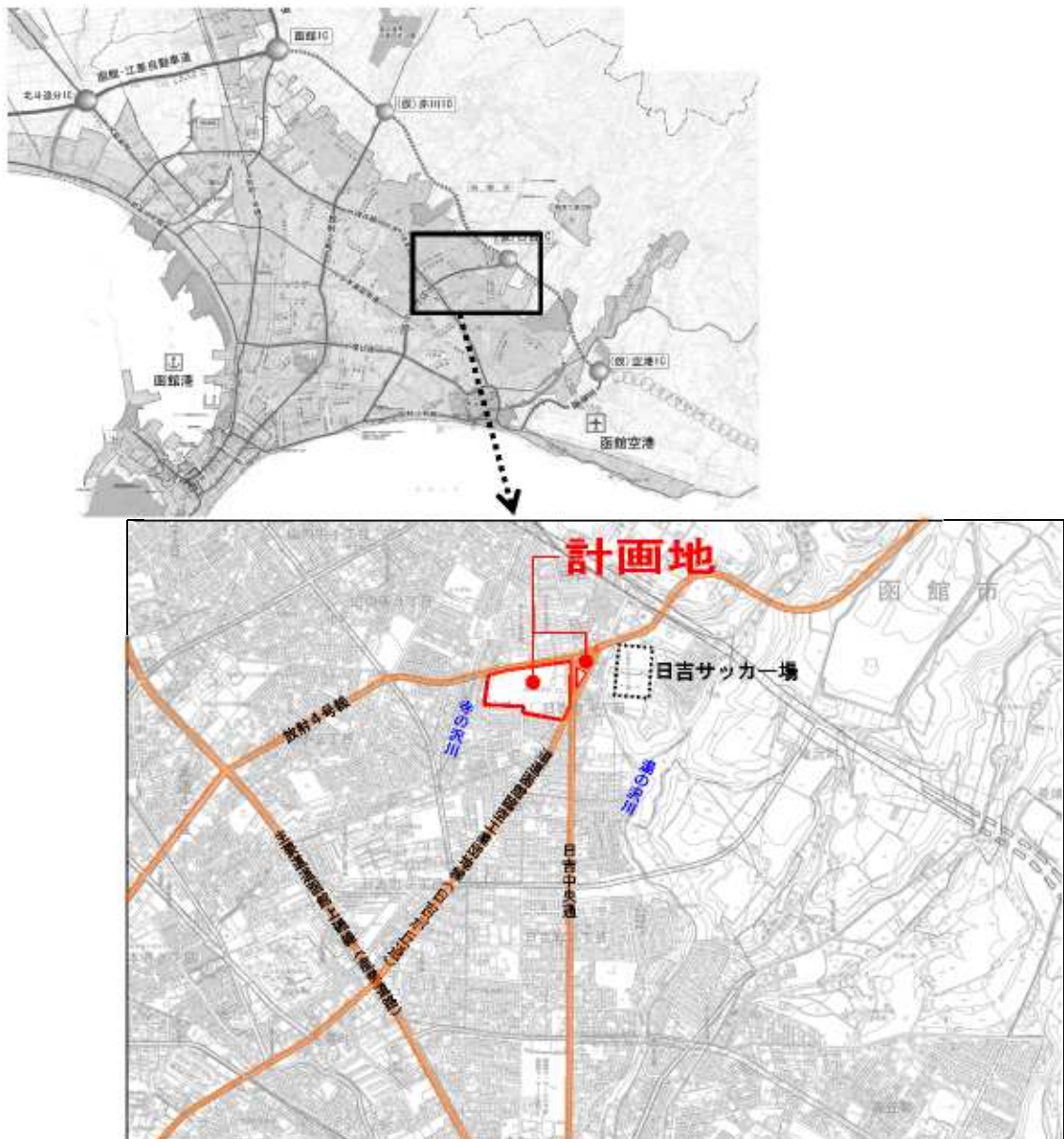
函館北高等学校跡地は、整備が進められている函館新外環状道路の（仮称）日吉インターチェンジに接続する放射4号線に接しており、函館インターチェンジで国道5号函館新道や函館・江差自動車道に連結することになる。

また、函館新外環状道路の整備に合わせ日吉中央通を整備することにより、宿泊施設が集積している湯の川温泉街への利便性も向上するなど、市民が利用するばかりではなく、広域的な利用促進やスポーツ合宿などを誘致する観点からも優位な位置にある。

さらに、函館北高等学校跡地から東側約150mには、サッカーコート2面を有する日吉サッカー場があり、一体的に利用することにより、大規模な大会や短期間で開催される大会の開催も可能になるなど、スケールメリットも期待できる。

また、日吉中央通を挟む位置には日吉幼稚園跡地があり、駐車場等に利用可能である。

【計画地の位置】



(2) 計画地の現状

ア 函館北高等学校跡地

- ・所在地 函館市日吉4丁目50番5
- ・面積 46,579.57㎡
- ・区域区分 市街化区域
- ・用途地域 第一種中高層住居専用地域(建ぺい率60% 容積率200%)
- ・既存建物 校舎棟7, 433㎡(RC・S・B造3階建7, 256㎡ W造平屋177㎡)
屋体棟2, 805㎡(RC・S造2階建2, 639㎡ W造平屋166㎡)
- ・その他 敷地の東南端に函館北高等学校記念碑がある

イ 日吉幼稚園跡地

- ・所在地 函館市日吉4丁目51番19
- ・面積 2,580.13㎡
- ・区域区分 市街化区域
- ・用途地域 第一種住居地域(建ぺい率60% 容積率200%)
- ・既存建物 園舎600㎡(S造平屋600㎡) 物置26㎡(W造平屋 26㎡)

(3) 地形・土質・地質および植生

ア 地形

函館北高等学校跡地は、北東方向から南西方向へと傾斜する河岸段丘上に位置しているが、校舎建設およびグラウンド整備に際し、敷地造成が行われ、現状は大部分が平坦化されている。

イ 土質・地質

函館北高等学校グラウンド跡地の標高は、おおよそ42.5mから43mの範囲にあり、グラウンドの敷地造成高を42.5mとすると、現在の地形はほとんどが切土造成されたものであり、盛土造成された部分は西端部と南東端部の一部と見込まれる。

また、北海道立地下資源調査所の地質図によると、周辺は「第四紀層第3段丘堆積物」に分類されており、砂や礫からなる地層が広く分布しているものと考えられる。

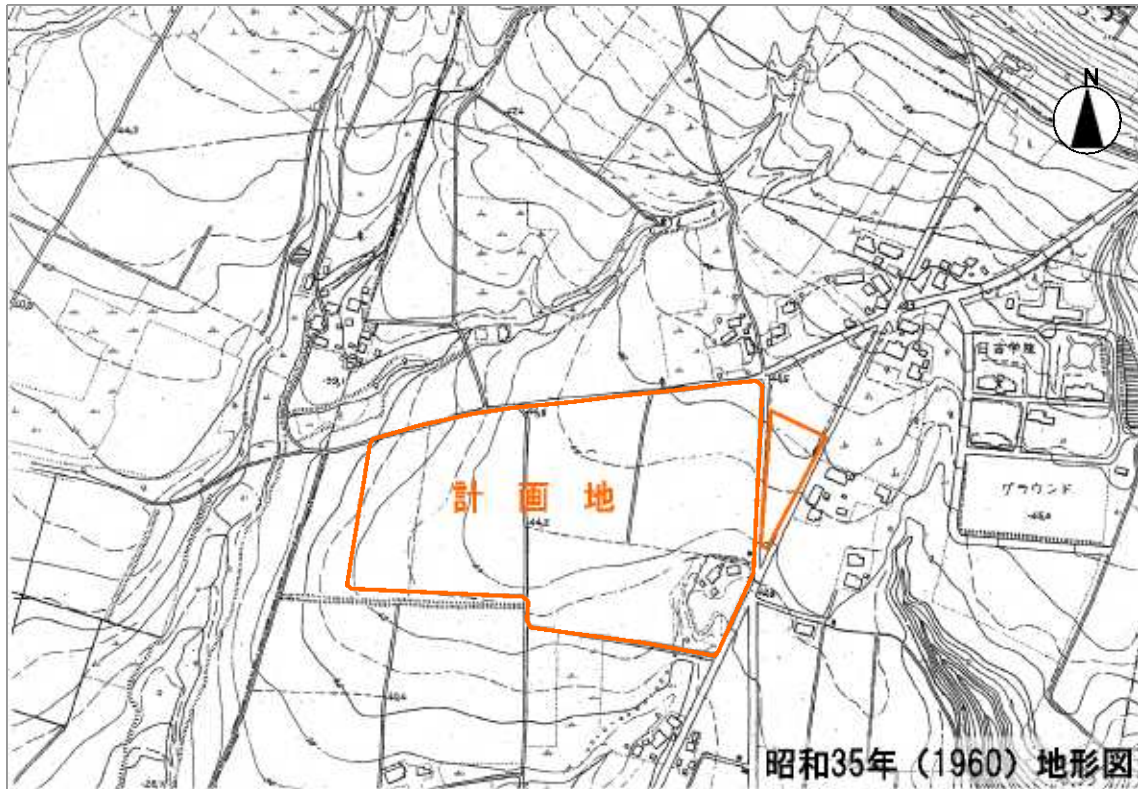
なお、校舎が建っている場所では、昭和57年と59年の増築時に合わせて3孔のボーリング調査を行っており、各孔ともに地盤から深さ2mから5mの範囲に粘土または粘土性の高いシルトが分布しており、地盤の強度を示すN値の小さな層が確認されている。

ウ 植生

計画地の外周部には多彩な樹木が植栽されているが、樹勢が衰えているものも見受けられることから、整備に向け樹木調査が必要である。

なお、計画地および周辺部には整備に向け配慮すべき植生は確認されていない。

【計画地の地形図】

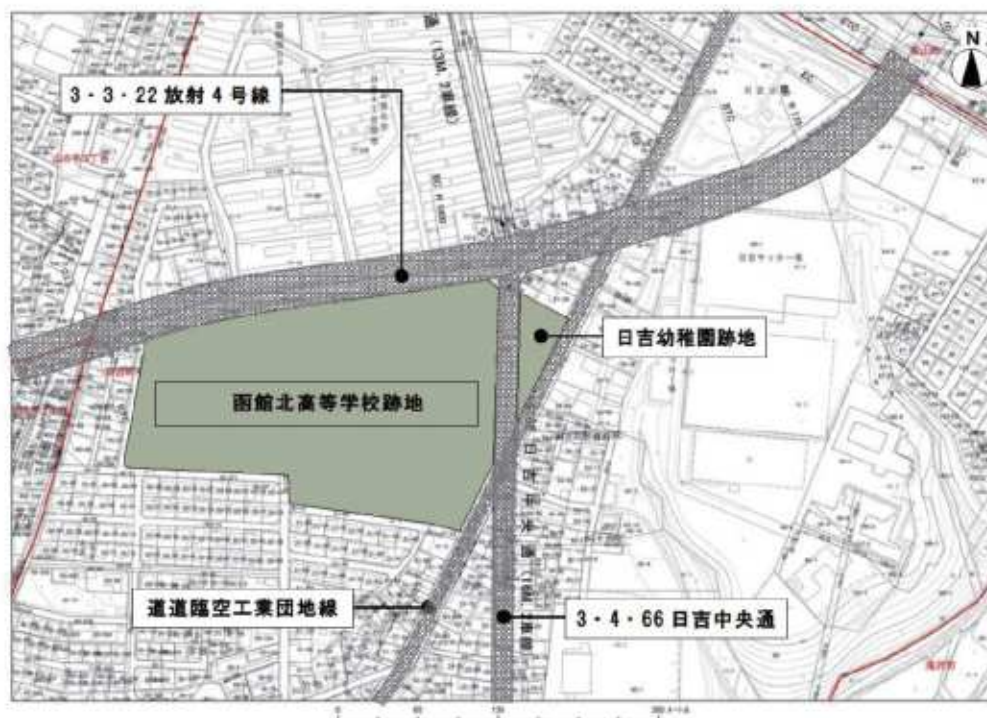


(4) 道路計画

計画地には、3本の幹線道路が接道しており、北側は3・3・22放射4号線（計画幅員31m）、東側は3・4・66日吉中央通（計画幅員16m）、南東部は道道臨空工業団地線（計画幅員15m）となっている。今後、放射4号線と日吉中央通の整備が予定されており、敷地の一部が道路用地になる予定である。

また、放射4号線と日吉中央通の交差点には右折レーンが設けられる予定となっていることから、計画地の車両出入口の設定にあたり配慮が必要である。

【道路整備計画図】



(5) 上下水道および電気

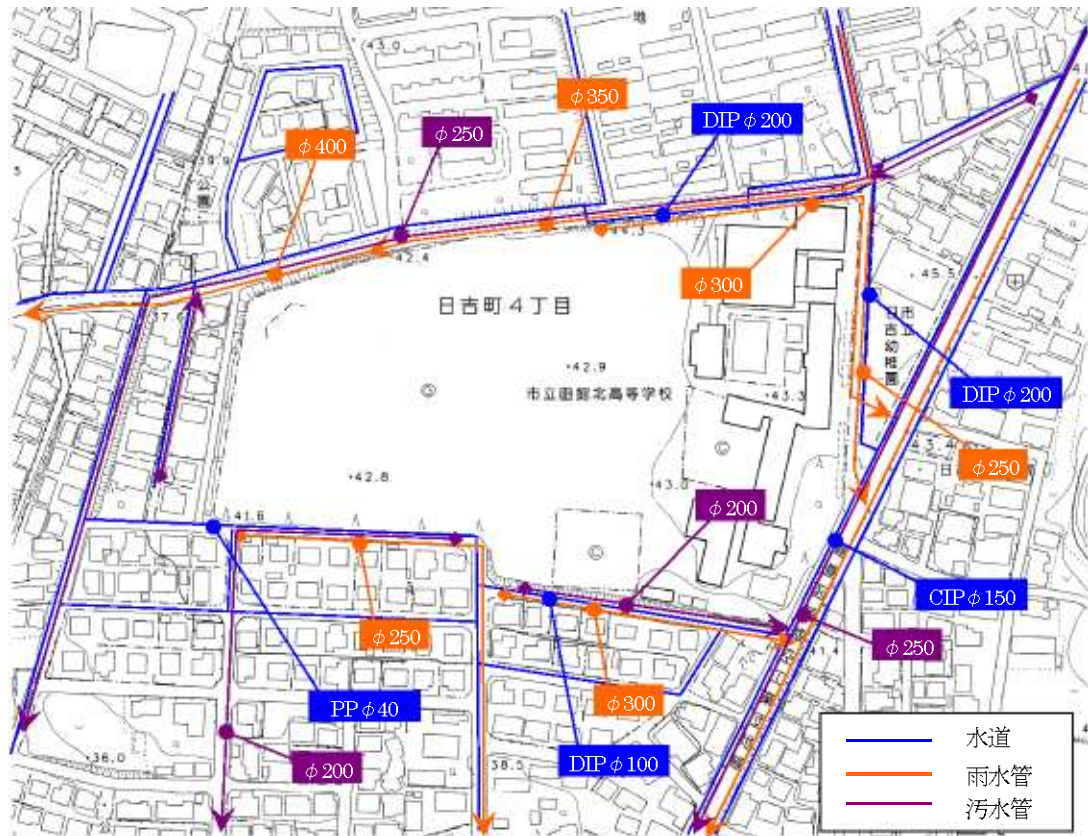
計画地には、敷地を囲うように水道管が敷設されており、放射4号線および日吉中央通にはダクタイル鋳鉄管（φ200mm）が敷設されており、道道臨空工業団地線には鋳鉄管（φ150mm）が敷設されている。また、敷地南側の住宅地内道路敷地にはポリエチレン管（φ40mm）およびダクタイル鋳鉄管（φ100mm）が敷設されている。

雨水管は西側を除く周囲の道路敷地に敷設されており、敷地東側の日吉中央通と南側住宅地の管は湯の沢川に放流され、北側の放射4号線に敷設されている日吉1の1号幹線から寺の沢川へ放流されている。雨水管の管径は、放射4号線側が300mm～400mmであり、日吉中央通および南側住宅地内道路側は250mm～300mmとなっている。

汚水管は、日吉中央通と西側を除く道路敷地に敷設されており、汚水管の管径は、放射4号線および道道函館臨空工業団地線側が250mm、南側住宅地内道路側は200mmとなっている。

計画地の外周のうち、西側以外には北電柱（NTT共架）が設置されており、西側以外からであれば、受電に支障ないものと考えられる。

【上下水道管路敷設位置図】



【北電柱設置位置図】



(6) 周辺住民へのアンケート調査

計画地周辺の居住者（世帯主）を対象に平成24年7月に実施したアンケート調査の結果は以下のとおりである。

- ・調査対象 周辺住宅の世帯主137人（男性99人，女性38人）
- ・調査期間 平成24年7月31日～8月20日
- ・調査項目 「生活環境への影響」
- ・回収結果 72人（回収率52.6%）

ア 回答者の属性

(ア) 性別

回答者のうち，男性は57人（79.2%），女性は15人（20.8%）であり，男性の回答率は57.6%，女性の回答率は39.5%であった。

区分	回答数	男性	女性
実数	72人	57人	15人
構成比	100%	79.2%	20.8%

（構成比について四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。以下同様）

(イ) 年代別

回答者のうち，最も多い年代層は70歳以上で34.7%となっており，次いで60歳代が26.4%となり，60歳以上が合わせて61.1%を占めている。

区分	回答数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
実数	72人	2人	5人	9人	12人	19人	25人
構成比	100%	2.8%	6.9%	12.5%	16.7%	26.4%	34.7%

イ アンケートへの回答

(ア) 生活環境への影響を考慮して，どのようなことに配慮すべきと考えるか。（複数回答）

最も回答数が多かったのは，「渋滞・違法駐車」で回答者の88.9%となっており，次いで「風紀維持・防犯」が72.2%，「騒音」が70.8%などとなっている。

区分	回答数	騒音	夜間照明	風紀維持・防犯	渋滞・違法駐車	その他
実数	72人	51人	32人	52人	64人	6人
割合	100%	70.8%	44.4%	72.2%	88.9%	8.3%

(イ) これまでの利用のなかで騒音は気になるか。（騒音に配慮すべきと回答した人への質問）

「ほとんど気にならない」が39.2%で最も多く，次いで「若干気になる」が27.5%，「気になる」が19.6%，「全く気にならない」が9.8%となり，「気になる」と「若干気になる」の合計は47.1%，「ほとんど気にならない」と「全く気にならない」の合計は49.0%となっている。

区分	回答数	気になる	若干気になる	ほとんど気にならない	全く気にならない	その他
実数	51人	10人	14人	20人	5人	2人
構成比	100%	19.6%	27.5%	39.2%	9.8%	3.9%

(ウ) 日没後の利用が生活に及ぼす影響ほどの程度か。(夜間照明に配慮すべきと回答した人への質問)

「若干影響する」が46.9%で最も多く、次いで「ほとんど影響ない」が34.4%、「大きく影響する」が18.7%となり、「全く影響ない」との回答はなかった。

区分	回答数	大きく影響する	若干影響する	ほとんど影響ない	全く影響ない	その他
実数	32人	6人	15人	11人	0人	0人
構成比	100%	18.7%	46.9%	34.4%	0.0%	0.0%

(エ) 「(仮称)日吉多目的グラウンド」の利用時間ほどのくらいが適当と考えるか。

開場時刻では、「7時」、「8時」、「9時」との回答が同数でそれぞれ30.6%を占めている。

閉場時刻では、「19時」が38.9%で最も多く、次いで「20時」が33.3%、「21時」が22.2%となっている。

開場時刻

区分	回答数	7時	8時	9時	10時	無回答
実数	72人	22人	22人	22人	2人	4人
構成比	100%	30.6%	30.6%	30.6%	2.8%	5.6%

閉場時刻

区分	回答数	19時	20時	21時	22時	無回答
実数	72人	28人	24人	16人	2人	2人
構成比	100%	38.9%	33.3%	22.2%	2.8%	2.8%

(オ) 20時以降の利用には夜間照明が必要になるが、どのような対処が必要か。

(閉場時間について20時以降と回答した人への質問)

「夜間照明は必要だが、設置箇所や照射方法に配慮すべき」が47.6%で最も多く、次いで「利用時間延長のため、必要十分な夜間照明を整備すべき」が35.7%となっている。

区分	回答数	利用時間の延長のため、必要十分な夜間照明を整備すべき	夜間照明は必要だが、設置箇所や照射方法に配慮すべき	夜間照明はコートのみ整備すべき	夜間照明はランニングコースのみ整備すべき	その他	無回答
実数	42人	15人	20人	4人	0人	1人	2人
構成比	100%	35.7%	47.6%	9.5%	0.0%	2.4%	4.8%

(7) 計画地の課題・配慮事項

計画地や関連施設の現状把握や課題を踏まえ、配慮事項を下記のとおり整理し、施設整備にあたり、十分に配慮し取り組む。

【計画地の課題・配慮事項】

●3・3・22放射4号線への配慮事項・課題

- ・整備時期未定。
- ・日吉中央通との交差点に右折レーンが設けられる計画となっており、車両出入口設定に配慮が必要。

●計画地の地質・土質に対する配慮事項・課題

- ・現地地盤から深さ2~5mの範囲に粘土または粘性の高いシルトが分布しており、N値が低い。
- ・既往調査位置に偏りがあるため、調査が必要。

●計画地の地形に対する配慮事項・課題

- ・現地地形造成の際に盛土造成されているため配慮が必要。
- ・周辺道路との間に高低差があり、出入口設定に配慮が必要。

●住環境に対する配慮事項・課題

- ・敷地南側・西側は住宅地に近接しており、騒音や夜間照明灯による住環境への影響に対する配慮が必要。

●基盤整備に対する配慮事項・課題

○上水道

- ・放射4号線、日吉中央通、道道函館臨空工業団地線から分岐可能。

○下水道（雨水）

- ・敷地西側を除く道路敷地に公共下水道が敷設されている。
- ・計画対象敷地の下水道流域が分割されているため、配慮が必要
- ・雨水流出抑制対策が必要。

○下水道（汚水）

- ・放射4号線、道道函館臨空工業団地線に公共下水道が敷設されており、接続が可能。

○電気

- ・敷地西側を除く道路敷地に北電柱が設置されており、受電可能。



●3・4・66日吉中央通への配慮事項・課題

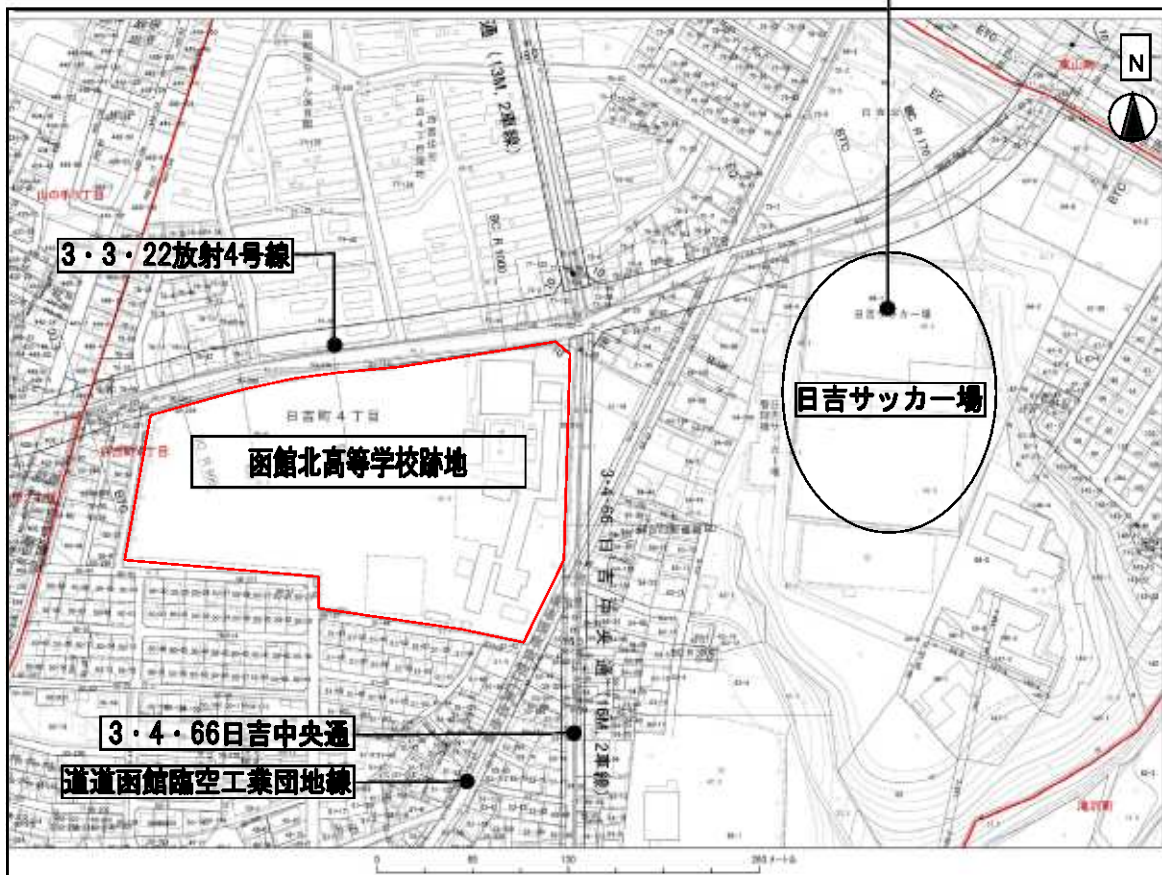
- ・平成27、28年度から工事着工予定。
- ・放射4号線との交差点に右折レーンが設けられる計画となっており、車両出入口に配慮が必要。

●計画地の景観に対する配慮事項・課題

- ・北校記念碑への配慮が必要。

●日吉サッカー場の課題

- ・天然芝コートは、一定の養生期間が必要である。
- ・クレーコートは、天然芝コートに比して利用可能時間は長いですが、排水機能の低下により降雨後も供用不能であることが多く、一般利用が制限されている。
- ・公式大会利用にあたっては、クレーコートが利用できない。
- ・天然芝コートは面数不足により、短期間で開催される大会においては、市内外他施設との分散開催または市外施設での開催が多くなっている。



●根崎公園ラグビー場（湯川町3丁目）課題

- ・1面しかないため、大規模かつ短期間で開催される大会の運営に対応出来ていない。
- ・春先は道内他都市の高校が合宿利用しているが、高機能化が進む本州他都市施設への移行が進み利用校が減少傾向にある。